

平成 30 年度第 4 回

逗子市子ども・子育て会議 会議録

平成 30 年 12 月 4 日開催

第4回逗子市子ども・子育て支援会議 平成30年12月4日(火) 会議録

日 時	平成30年12月4日(火) 13時30分から15時30分まで
開催場所	逗子市役所4階 全員協議会室
出席者	<p>【委員】 三谷大紀委員長(会長、座長)、横地みどり副委員長(副会長)、辻義和委員、角田朋子委員、井出久美子委員、角田進委員、小関富美江委員、中島亜紀委員、草柳ゆきゑ委員、山崎夏子委員、石井稔江委員、猿田貴美子委員、杵山英廷委員 以上13名</p> <p>【アドバイザー】 丸山産婦人科 丸山浩之医師、ねもと歯科クリニック 根本京子医師</p> <p>【事務局】 山田教育部部長、高橋教育部次長、中村子育て支援担当課長、杉山保育課長、栗飯原保育課副主幹、雲林療育教育総合センター所長、村上子育て支援課主幹、福島保健師、竹内保健師、椛島主事、服部社協職員</p>
欠席者	久保健太委員、栗山仁委員(2名)
開催形態	公開(傍聴者 なし)
議 題	(1) 子ども・子育て支援事業計画について (平成29年度母子保健に関する実績報告と評価) (2) 放課後児童クラブ条例の一部改正及び、政省令改正に伴う条例の一部改正について (3) 放課後児童クラブの利用選考基準について (4) 平成31年度の保育所待機児童対策について (5) 平成30年度就学児童の状況について
議 事	別添 発言要旨のとおり
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・会議室レイアウト ・委員名簿 ・(資料1) 母子保健事業の進捗状況

<ul style="list-style-type: none"> ・(資料2) 放課後児童クラブ条例の一部改正について ・(資料3) 放課後児童クラブの選考基準について ・(資料4) 平成31年度の保育所待機児童対策等について ・(資料5) 平成30年度市内就学前児童の在園状況 ・(資料6) 逗子市子ども・子育て支援事業計画に伴うアンケート調査(案)

第4回逗子市子ども・子育て会議 平成30年12月4日(火) 議事録

【議題】

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 子ども・子育て支援事業計画について
(平成29年度母子保健に関する実績報告と評価) (2) 放課後児童クラブ条例の一部改正及び、政省令改正に伴う条例の一部改正について (3) 放課後児童クラブの利用選考基準について (4) 平成31年度の保育所待機児童対策について (5) 平成30年度就学児童の状況について |
|--|

1. 開会

委員15名中12名出席 議事録の署名人は、角田委員と横地委員

2. 議題・報告等

【議題1】子ども・子育て支援事業計画について(平成29年度母子保健に関する実績報告と評価)

事務局より平成29年度母子保健に関する実績報告と評価について説明(省略)

(質疑応答)

【角田委員】資料1の5頁「育児協力者がいる者の割合」について、ずいぶん高い数値だと感じた。協力者とはどの程度関わりがある人のことを指すのか。

【事務局(竹内保健師)】問診票では自由記載となっており、誰を協力者とみなすかは本人の判断によるところが大きい。協力者の欄に誰も記載がないような場合は、保健師が確認し、必要に応じてファミリーサポートなどのサービスを紹介している。

【事務局(中村担当課長)】協力者として一番多いのは配偶者だと思われるが、どこまでを「育児に関わっている」とするかは、時代とともに変わっていると思う。

【井出委員】子ども元気相談の利用者数が減っているが、どのように周知しているのか。

【事務局(中村担当課長)】子ども元気相談は、他市町村では健診の際の心理相談の中で実施していることが多い。逗子も以前はそのような形であったが、相談者のことを考え、健診とは切り離して実施する

こととした。もともとそのような成り立ちであることから、主に健診の間診票の中から出てきた相談事から子ども元気相談につながることが多い。健診以外では、インターネットで子ども元気相談のことを調べ、直接申し込みをしてくる人もいる。

【三谷会長】 アドバイザーとしてお越しいただいたお二人にご意見をいただきたい。

【丸山医師】 最初に妊産婦統計の数字があるが、妊産婦の死亡率はゼロではないのではと思うが、どうか。

【事務局(中村担当課長)】 母子健康手帳を出して、把握している中ではゼロである。

【丸山医師】 母親両親教室の参加率がずいぶん減っているなどと思う。以前は年に4回、平日開催だったが、いまもそうか。

【事務局(中村担当課長)】 平日に4回のほか、土曜のコースを3回開催している。

【丸山医師】 おそらく、病院が開催する母親教室に参加している人が多いのではないかと。当院の母親教室は月1回開催しており、8割方は初産の方で、年間で60人くらい来ていると思う。市の母親両親教室と重複して参加している人もいる。全体で見ればかなりの人数をカバーできているのではないかと。また、予防接種の接種率が低いと感じる。予防接種というのは全員が受けて初めて意味があるものなので、100%になるように努力が必要だと思う。なかには確信的に予防接種を受けない人もいるが、そうではない、うっかり受け忘れてしまったという人をなくしていくことが、地道だが一番確実な方法ではないかと。育児支援についてはかなりの数がフォロー出来ており大変良いと思う。産後うつが最近クローズアップされてきており、近隣自治体では、産後うつ予防の2週間健診を3か月健診の前に始めているところも増えてきている。逗子でもなるべく早く導入できればよいと思う。

【根本歯科医師】 3歳児う歯罹患率が今年度は10%になってうれしいが、平成27年度と比べるとまだ統計の分母の数字が増えていくと思われるので、今後も様子を見たい。保育園で健診していると、虫歯の子はとても少ないが、何人かは多数歯う蝕という子もいる。家庭生活に何か問題があるのではと思われる子もいるので、人数は多くはないが、そういう子もフォローして行ってあげてほしい。

【横地委員】 三種混合ワクチン接種率が、3歳3か月健診時で29年度は85.5%に減っている。減った原因がわかっていたら教えていただきたい。

【丸山医師】 予防接種の数がすごく増えており、スケジュールを組むのが非常に大変。お母さんには小児科の先生と相談してスケジュールを組むようにと話をしているが、忙しい生活の中で忘れてたり、やりくりがつかなくなったりすることがあると思う。同時接種できるものはしていった方が安全かなと思う。

【横地委員】 これだけ予防接種の数がたくさんあり、接種時期もそれぞれ分かれていて非常に複雑だが、お母さんたちにはどのように案内しているのか。

【丸山医師】 自分でスケジュールを組もうとすると間違いやすいので、かかりつけの小児科をもち、相談してもらうのが一番いいと思う。

【事務局(中村担当課長)】 出生届の提出時に、接種の一覧表を見せながら全員に説明をしている。

【山崎委員】 パートナーがアメリカ人なので、子どもはBCGを受けさせていない。もしアメリカに帰る

ことになったら、BCG を打つと 1 年間学校に通えない。

【丸山医師】 ここ 10 年くらい結核が増えてきているので、注意が必要。アメリカの事情はそうでも、日本では接種しておいた方がいいのではないかと思う。

【山崎委員】 健診に行くたびに BCG を接種するように言われるが、家に帰るとパートナーからはなぜ必要なのかと言われてしまい、間に入って困っているお母さんも結構いると聞いている。

【丸山医師】 日本はワクチン後進国である。今、風疹がとても流行している。風疹の流行は前は 5 年前くらいで、その前は 8 年前くらいだった。だんだん流行の間隔が短くなってきている。これには接種率の低下が関係していると思う。アメリカでは大丈夫でも、日本では予防接種はまだ必要。10 人かかったら 8 人死んでしまう病気を、1 人に減らすためには何ができるかというのが公衆衛生の考え方なので、ご理解いただきたい。

【辻委員】 アメリカでは打たなくてよいが、日本では打つべきだという違いはなにか。

【丸山委員】 アメリカの方が医療の進んでいる時代が長かった。例えば、日本でエボラ出血熱のワクチンを受ける必要はないが、アフリカに行ったら打つ必要がある。日本は、風疹や結核というものがいまだに根付いている地域なのだということ。

【小関委員】 母親両親教室の参加率低下について、病院で開催している教室に参加しているのかもしれないが、教室にまったく行っていない人もいるかもしれないし、本当のところはどうなのかは把握できていないのではないかと。インターネットで子どものちょっとした症状を調べては不安になっているお母さんのこともたまに聞くので、正しい知識を得てもらうためにも、市が実施する母親両親教室を周知する方法をもう少し考えてもいいのではないかと。

【草柳委員】 母親両親教室に携わっている印象として、父親の参加が増えている一方、全体の人数は少なくなっていると感じる。自分の娘を見ていると思うことだが、若い世代では実母に相談するより、インターネットで検索する方が早いと思っている風潮がある。そういう風潮をどう変えていけるかが課題だと思う。

【三谷会長】 そこに行くと話が聞けてほっとするような、知識を得るためだけではない、人と人とのつながりの場としての機能や付加価値を持たせていくことが必要だと思う。

【丸山医師】 出産年齢の高齢化にともない、その親も高齢化している。そうすると祖父母の援助があまりあてにできない場合も多く、母親の孤立化が目立ってきている。当院では産後育児サロンを月 1 回開催している。当院でお産した人以外でも参加できるオープンなスペースをつくって、情報交換や交流をする。母親を孤立させない方策がこれから重要になってくると思う。

【井出委員】 素晴らしい取り組みだと思う。産後うつは、薬を飲まなくても良くなっていく人は多いのか。

【丸山医師】 薬は必須ではない。うつには様々な原因があるが、人に頼れない孤独な状況で、子育てがうまくいかないときに「こうでなければいけない」と自分を追い込んでしまい、うつが悪化することがある。そこまで悪くなる前に、お母さんに休んでもらう手助けが必要。最近逗子でも始めたが、産褥入

院といって、医療機関で受け入れて、助産師が話を聞き、休んでもらう。現状、利用者数があまり多くないことが今後の課題。

【角田委員】 産褥入院というのは、期間は決まっているのか。

【丸山医師】 当院では期間の定めはない。ただどうしてもコストがかかるので、逗子市と葉山町から補助が出る。

【角田委員】 保険は適用になるのか。

【事務局(中村担当課長)】 医療でうつと病名がついて、精神科に入院ということになれば別だが、産褥入院は保険適用にはならない。

【石井委員】 幼稚園で、三歳児健診を受けないまま入園してくるケースがある。子どもの発達に不安を感じている親に多い。療育につなぎたくてもチャンスを失ってしまうので、未受診者にはできるだけ受診を勧めていただきたい。

【三谷会長】 三歳児健診について、平成30年度は100%になっているが、未受診の人がいるのか。

【事務局(中村担当課長)】 4歳の前までに受ければよいことになっているので、健診の日にタイミングが合わず受診が遅くなる人はいるが、3歳児の把握率は100%なので、特段の事情がない限りは受診していると思う。

【三谷会長】 2歳児すくすく教室の対象者の割合が低いが、保育園は入っているのか。

【事務局(中村担当課長)】 全員に案内をしている。

【議題2】放課後児童クラブ条例の一部改正及び、政省令改正に伴う条例の一部改正について

事務局より放課後児童クラブ条例の一部改正及び、政省令改正に伴う条例の一部改正について説明
(省略)

(質疑応答)

【小関委員】 保護者会連絡会での説明の後、保護者の意見を聞いた。逗子の場合は人員配置を国の基準以上の人数で配置しており、いまの保育の質を維持してほしいという意見が聞かれた。

【三谷会長】 議会の指摘は、ひとり親の保育料が高く見えすぎることである。4階層だと、かたや9千円で、所得の高い人は1万8千円になる。そのアンバランスをどう考えるのか。また、現場の肌感覚として、今回の改定は学童の質向上のために良い事なのか、悪い事なのか。

【小関委員】 学童保育の指導員というのは、ただ子どもが遊んでいるのを眺めていればいいというものではなく、専門性が求められる職場である。認定取得研修をきちんと受けた人に子どもを見てもらう方向になってほしいと望んでいる。

【議題3】放課後児童クラブの利用選考基準について

事務局より放課後児童クラブの利用選考基準について説明 (省略)

(質疑応答)

【辻委員】 4年生以上の子が待機になる可能性が高くなるのではないかと思うが、待機の子に対して代替手段などは考えているのか。

【事務局(山田部長)】 放課後児童クラブに代わるものはなかなかなく、どうしても代替りの何かをというのであればファミリーサポートなどをご案内する。

【中島委員】「選考基準作成上のポイント」として、「子の障がいの取り扱い方、特に手帳取得していない児童」とあるが、これはどういう意味か。

【事務局(杉山課長)】 障がいのある子は優先度が高いと保護者の方に思われがちだが、障がいの状況・程度によってはそもそも入所をお受けできないこともある。そのうえで、入所可能なお子さんについて、障がいの有無により優先度を高めるということをどう考えるか、ということ。

【中島委員】 もし、放課後児童クラブの利用が難しい場合、放課後デイサービスなどをすすめたりするのか。

【事務局(杉山課長)】 放課後デイサービスは、療育の事業としてお子さんの障がいを軽減したり、生活を支援するためのものなので、放課後児童クラブの代わりではない。

【中島委員】 日中一時支援はどうか。ママ友などから情報を得て、療育をさせたいという名目で利用している人もいる。

【事務局(杉山課長)】 療育事業をどれだけ利用できるかは、障がい福祉課で、お子さんの生活状況や、障がいの程度、障がいの特質などにより判断する。そこに保護者の就労状況は加味されない。

【中島委員】 ひとり親で障がい児を育てている方もいる。預けないと仕事ができない、しかし放課後児童クラブでは受け入れてもらえないという時はどういう案内になるのか。放課後デイサービスは放課後児童クラブの代わりではないというのはわかるが、せっかくあるサービスを教えてもらえず使えないというのはおかしいと思う。

【三谷会長】 仮に、中島委員が話した今のケースで窓口に来た時、どういう案内になるか。

【事務局(雲林センター長)】 放課後デイサービスに関しては、本来は療育的な支援なので、まずは療育的な支援が必要かというところで判断する。もう一方の日中一時支援の方は、放課後デイサービスと大きく違う点として、預かり的な支援をしているので、そういった意味では、就労などの事情でどうしてもお子さんを見られない時に利用できるかと思う。ただ、欠点としては、事業者の数があまり多くないということがある。障がい福祉課の他に、トータルのプランを考える相談支援事業もあるので、何か困ったことがあった時に相談していただくのはいい事だと思う。

【津田委員】 ひとり親の方は時間がないので、一つの情報を得るために役所に何回も足を運ばなくても、一度にいろいろ案内してもらえれば、すごく助かると思う。

【横地委員】 お子さんが幼稚園・保育園などの集団に属していれば、何かしらの情報を得られたり、相談にもつながると思う。幼稚園・保育園の時点で支援シートを作り、就学前相談につなげていけば、解決できるのではないか。

【小関委員】 他市の例だが、放課後デイサービスと放課後児童クラブの両方を使っていることが多い。

制度の趣旨が違うというのはよくわかるが、障がいのあるお子さんの保護者が就労する場合は、療育と生活支援どちらのサービスも必要だということをもっと認識してほしい。

【事務局(杉山課長)】 放課後児童クラブの申し込みの段階で、療育のチェック欄にチェックがあったお子さんには面談をお願いしている。実際にクラブを見てもらい、お子さんの状況を聞かせてもらってお受けできるかの判断をする。実際、クラブの利用をお断りした事例はここ10年で1、2例である。

【三谷会長】 保育という観点からしても、一番守ってあげなければならない人たちである。サービスを知らなかったということがないように、横の連携と情報の共有を密に図っていただきたい。事務局から提案の通り、A市の例を参考にしながらこのスケジュールで進めるということでご承認いただいてよろしいか。(一同承認)

【議題4】平成31年度の保育所待機児童対策について

事務局より平成31年度の保育所待機児童対策について説明(省略)

(質疑応答)

【横地委員】 逗子市では保育士不足が非常に厳しい。今後、保育所の申し込み者数は横ばいなものにもかかわらず、保育士が雇えず受け入れ可能人数が減り、待機児童が増える可能性はゼロではないと思う。

【議題5】平成30年度市内就学前児童の在園状況について

事務局より平成30年度市内就学前児童の在園状況について説明(省略)

(質疑応答)

【辻委員】 年齢別児童数が、5歳児が460人で、0歳児が321人となっているが、これは少子化だからか。

【事務局(杉山課長)】 当市の傾向で、生まれてくる子どもに加えて転入してくる子どもが多く、年齢が上がるにつれて子どもが増えるということが、ずっと構造的にある。

【小関委員】 学童保育の利用は他県だと3～4割だが、神奈川県は低く、低学年で2割くらい。5歳児の入所率を見ていると、足りなくなるのではないかと思う。

【事務局(山田部長)】 理由はわからないが、去年は出生数が少なかった。目標として400人を目指しており、子育てする環境を整えていきたいと思っている。

【辻委員】 0歳から5歳になった時に140～150人増えるとすると、先ほどの学童のことも考えないと大変だと思う。

【議題7】その他

【事務局(村上主幹)】 報告事項が2点。1点目は逗子市子ども・子育て支援事業計画の改定に伴うアンケート調査について。前回の会議で皆様からの意見や国からの指導等を踏まえ、修正をし、12月中旬頃に各家庭に発送する。もう1点は会議録について。こここのところずっと名前の表記を記号(アルファベ

ット) 表記としていたが、市長の諮問を受けている会議であるので名前を伏せるのはおかしいと指摘を受けた。いきさつを調べた所、保育園の民営化の議論の時に提案があり名前を伏せていたということだった。その議題はすでに終わっているので、以前のように名前の記載をさせていただく。

3. 閉会

以上により本日の議事を終了し、第4回逗子市子ども・子育て会議を閉会し、散会した。

なお、議事の経過並びに結果を明確にするためこの会議録を作成し、会長及議事録署名人は下記に署名押印する。

会長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印